

全国の生協が持続可能な社会の実現に向け  
「生協の2030環境・サステナビリティ政策」を策定

日本生活協同組合連合会

日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、代表理事会長：本田英一）は、持続可能な社会を実現するために全国の生協で推進する2030年までの政策「生協の2030環境・サステナビリティ政策」を策定しました。

●「生協の2030環境・サステナビリティ政策」を構成する「10の行動指針」と「2030目標」

全国の生協は「人間らしい暮らしの創造と持続可能な社会の実現」を理念に掲げる組織として、持続可能な開発目標（SDGs）を支持し、具体的な実践を展開しています。今回策定した「生協の2030環境・サステナビリティ政策」の実施を通して、SDGsの実現にさらに貢献してまいります。

本政策は政策の精神を表したスローガンのもと、具体的なアクションプランである「10の行動指針」と、2030年にありたい姿をイメージしながら設定した「2030目標」によって構成されています。

	「10の行動指針」と「2030目標」	関係するSDGs目標
1	エシカル消費に対応した商品を拡大・普及させ、エシカル消費に共感できる消費者を社会の中に増やしていきます	12, 13, 14, 15, 1, 8, 9, 2, 4, 6
2	生協事業のサプライチェーン全体と、組合員の生活における温室効果ガス排出削減に取り組みます <b>2030目標</b> CO <sub>2</sub> 排出量を2030年に2013年度比で <b>40%削減</b>	13
3	再生可能エネルギーの開発を通して、日本における再エネ導入量を増加させるとともに、持続可能な地域づくりに貢献します <b>2030目標</b> 2030年までに <b>年間発電量4億kWh</b> の再生可能エネルギーを開発	7, 13
4	生協事業で使用するプラスチック製容器包装と紙を削減します。また、持続可能な原材料への切り替えを進めます <b>2030目標</b> ・使い捨てプラスチック製容器包装の使用量を2030年に2018年度比で <b>25%削減</b> ・商品カタログに使用する紙使用量を2030年に2021年度比で <b>25%削減</b>	12, 14, 15
5	生協事業から排出される容器包装等の回収・リサイクルを、組合員とともに推進します	12, 14, 15
6	生協事業ならびに組合員家庭から生じる食品廃棄物・食品ロスの削減を進めます <b>2030目標</b> 食品廃棄物を2030年に2018年度比で <b>50%削減</b>	12
7	サプライチェーンを通して、人権を尊重し環境に配慮した「責任ある調達」を進めます	8, 12, 14, 15, 17
8	組合員とともに環境保全活動を推進し、自然共生社会の実現を目指します	14, 15, 17
9	環境・サステナビリティに関わる諸課題を解決するために、新たな協働の取り組みにチャレンジします	17
10	生協の環境・サステナビリティに関わる取り組み状況を積極的に公開し、社会との対話を進めます	12, 17

